

学校保健委員会だより

令和4年12月5日発行

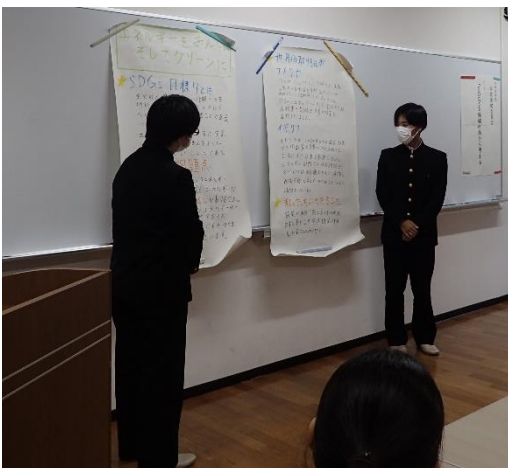
制作者 桜井高校保健委員会

世界の SDGs

先日の学校保健委員会では、保健委員会の生徒や先生方、PTA 役員の方と SDGs について協議しました。世界各国で SDGs について様々な取り組みが進められています。私たち保健委員会は、世界各国の取り組みを知り、自分たちにできることを考え、ポスターにまとめました。文化祭時に掲示されているのを皆さんご覧いただけましたか。



SDGs の達成に向けて



SDGs を達成するために、自分たちにできることはあるのか、生徒がまとめたポスターで、現状と問題点、世界各国の取り組みを確認しました。SDGs 達成に向けて、自分たちが簡単にできる、始められることを実践するだけでも自分や相手の健康と福祉を守ることができるのではないのでしょうか。

桜高祭で作成したポスターについて、発表しました!

「すべての人に健康と福祉を」とは?

目標「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」

目的「どんな人間でも差別されることなく、最高水準の健康と適切な医療サービスを確保できるようにする」

2030 年までに、以下のことを達成するように発表されている。

- ・ 予防や治療をすすめ、感染症以外の病気で人々が早く命を失う割合を 3 分の 1 減らす。
- ・ 心の健康への対策や福祉もすすめる。
- ・ 麻薬を含む薬物やアルコールなどの乱用を防ぎ、治療をすすめる。
- ・ 交通事故による死亡やけがを半分にまで減らす。



今回の参加者でSDGsの3つ目の項目である『すべての人に健康と福祉を』というテーマをもとに、

「自分が健康であるためにできること」

「他者が健康であるために自分ができること」

の2つの内容を協議しました。



〈自分が健康であるためにできること〉

この内容で意見が多かったのが「食生活に気を付ける」「適度な運動をする」「休養をしっかりとる」という3つでした。中には、早寝早起きや手洗いうがいなど、普段日常的に行うこともたくさんありました。また、ストレスをためない、身体や病気について学習するといった意見もありました。

〈他者が健康であるために自分ができること〉

この内容では「運動に誘う」「タバコを吸わない」「人とコミュニケーションをとる」「募金する」などといった様々な意見がありました。また、人と関わる際にはマスクをつけて少し距離をとるというコロナ禍ならではの意見も見られました。

〈今後、自分たちはどうしていけばよいのか？〉

「自分が健康であるためにできること」「他者が健康であるために自分ができること」、この2つの内容を通して、他者が健康であるためにはまず、自分が健康に過ごし改めて自分の健康状態を見直すことが大切だと思います。そして、他者が健康であるために自分ができることを考え、取り組んでいくことですべての人が健康に過ごすことができると思います。

自分の考えを付箋に書いて、画用紙に貼り、

みんなの意見を集約しました！

